

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立東出雲中学校

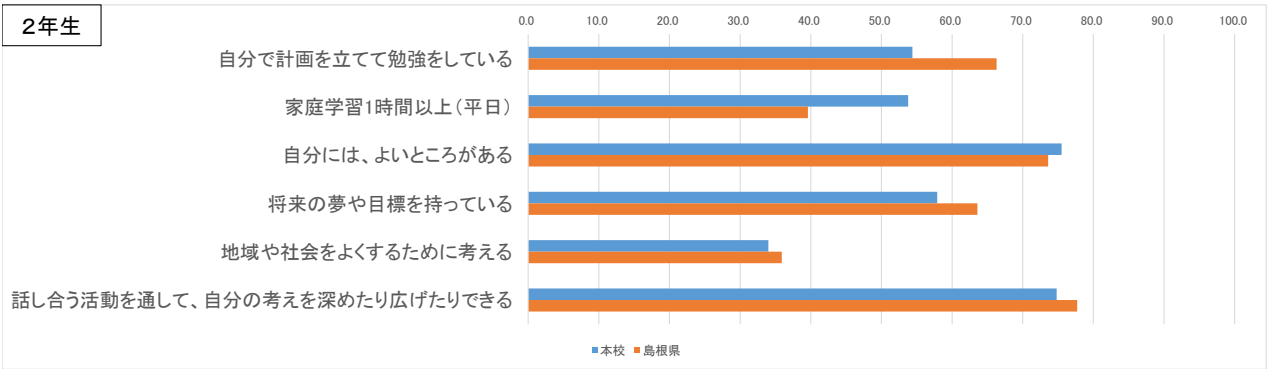
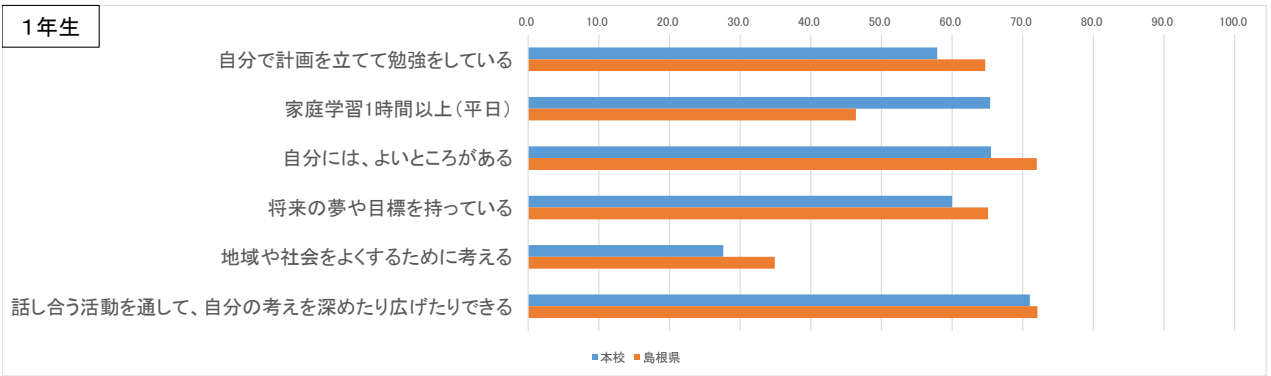
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○直前までに学習していた単語についての文法問題がよく理解できていた。 ○推敲がよくなる。 ●語句の知識定着と長文記述に課題がある。	○全体として市、県平均を上回っている。 ○漢字の読み書きについては正答率が高い。 ●文章の読み取りや登場人物の言動の意味を考える力が弱い。 ●自分の考えを明確にし、表現の工夫をして作文することに課題がある。
数学	○図形領域は県、市の結果よりわずかによい。 ○繰り返し学習をした素因数分解は、全国・県平均よりも高い。 ●関数領域に特に課題が多い。	○基礎は概ね市、県平均を上回っている。 ●一次関数の関係を表す式・表・グラフを相互に関連付けて考える力が弱い。 ●証明の必要性和意味の理解や文字式を使って説明することに課題がある。
英語	○リスニングに関する問題については、全体的に低い正答率の中、県平均に近い正答率である。 ●語形・語法・語彙の基礎的な知識が身に付いておらず、英文の読み取りについて課題がある。 ●目的・場面・状況に応じた作文は全国・県平均正答率を下回り、課題がある。	○リスニングに関する問題については、全体的に低い正答率の中、県平均に近い正答率である。 ●「書くこと」に関する問題において、目的・場面・状況に応じた作文は国や県、市の平均を大きく下回り、かなり課題がある。 ●「読むこと」に関する問題において、県や市の正答率を大きく下回り、語彙や語法を用いて読み取る力がかなり弱い。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○概ね県平均と同レベルの回答が多い。家の人に言われなくても進んで勉強する割合は県平均よりも高く、学習の準備、家庭学習の取組への意識は良好である。また、将来の夢や希望があり、自分の可能性に期待している生徒が多い。 ●新聞や図書等を使って自ら学ぶ意欲や関心が低い。 ●図書館を利用して学習する機会が少ない。	○「自分にはよいところがあると思う」と答えた生徒が県平均より高い。 ○総合的な学習の時間では、集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する学習に取り組んでいる生徒の割合が県平均に比べて高い。 ●テレビを観る時間や寝る時間などを決めていない生徒の割合、スマホやゲーム機の使用時間が長い生徒の割合が高い。 ●授業で分からないことがあれば先生に質問したり、習ったことを復習したりしている生徒の割合が低い。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 1年生 144 名 2年生 147 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)